

(仮称) 武蔵村山市ダイバーシティ都市宣言について

1 経緯

令和 7 年 3 月 16 日執行の武蔵村山市長選挙において、次のとおり立候補者の公約として掲げられた。

(1) 選挙公報

(仮称) 武蔵村山市ダイバーシティ都市宣言

一人ひとりが尊重され、自分らしく暮らせる社会、多様性と包摂性のある社会の実現を目指します。

(2) 選挙運動用ビラ

(仮称) 武蔵村山市ダイバーシティ都市宣言

年齢、性別、国籍、障害の有無、性自認、性的指向等の違いにかかわらず、一人ひとりが尊重され、自分らしく暮らせる社会、多様性（ダイバーシティ）と包摂性（インクルージョン）のある社会の実現を目指します。

2 公約の趣旨（議会答弁の要約）

少子高齢化や人口減少が進行し、社会経済情勢も急速な変化を続ける中、活力ある持続可能な地域社会を維持していくためには、構成員である全ての市民の力が発揮されることが不可欠である。

また、1 期目から目指している「日本一住みやすいまち」の実現には、市民一人ひとりが、年齢や性別、国籍をはじめとする様々な違いにかかわらず、個人として尊重され、自分らしく暮らせる社会であることも大切であり、そのような多様性と包摂性のある社会こそ、誰もが住みやすさを実感し、安心して暮らしていくことができる。

このような認識の下、市の基本的な姿勢を明示するため、2 期目の公約の一つとして掲げた。